

設問1-5 (セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
他の保護者の意見(お話)を聞いて改めておの100について考え直した。しっかりと子どもと向き合おうと思います。
去年も見たスライドなのにやっぱり「これやってるわー」「これできないわ」と思う項目があった。分かっているけど止められない「勉強しなさい」「早くしなさい」
改めて考えることができました。
同じような世代の親の意見、学校とはまた違った知らない親の意見などいろいろ聞けたし、自分の考えの視野も広がったので良かったです。
なかなかこういうセミナーに出ることがないのでとても勉強になりました。子どもたちに何かと先に先に言っているなあと反省しました。
子どもとの関わり方を考えさせられました。子の自立だけでなく親も自立が必要ですね。
親としていろんな「過」をしているなと心痛く感じました。
子どもの気持ちになり、親は見守る、任せる事をもっとしていかないといけないと思いました。
今回4回目の参加なのですが、いつも(毎回)「もっと自分が大きく生きなければ」と感じるのですが...現実には...「小さいな」と思われますが気付かせていただけることがたくさんあります。子どもとの接し方、地域のコミュニケーション...だんだんと難しく考えすぎる世の中ではありますが頑張っていこうと思います。
日頃の子どもの関わりについて手を出し過ぎているなとつくづく思った。子どもが困らないように先回りしている口出しし過ぎていると思った。今、困ったり悩んだり、考えたりしっかり経験させてやりたい。そして自分の力で解決、乗り切った時の感動を一緒に喜んでやりたいです。
私は指示が多いと反省しました。
他の方の意見が聞けて良かったです。
いろんな思いのご家族の方がいらっしゃって、でもその中にはすべて共通する部分(子を思う気持ち)があって話が出来て良かった。
日常を真面目に反省する機会を与えて頂いた事に感謝します。3人目の子育てともなると流されている自分がいます。気合いを入れて踏ん張って子育てしたいと思いました。
子どもを一人前にするということは、親がすることだと思い込みをしていました。なかなか社会的つながりのない時代で難しいことかもしれませんが、まずは自分たちの周りから協力するということを取り入れていきたいです。
私は3日目の受講です。一度目は緊張の連続、二度目は少しの余裕で、今回は自然に聞くことができました。私は5つの過が特に気になります。
毎日の生活、時間に追われざみですが、子育て親育ちの原点に帰れるきっかけになりました。
今回の参加は始めてで、前回の説明会も主人の参加だけでとても不安でしたが、子どもを信じて笑顔で参加しようと思います。よろしくお願ひします。
保護者研修会...最初はピンときませんでしたが、受けてみてその大切さと重要性が分かりました。基本は家庭教育ですよ！
子どもとの関わりを考えなおすきっかけになりました。
時間が少し長いかなと思うが子どものためですから我慢しましょ。
普段気付かないうちにやってはいけない「5つの過」をやっていると思い反省した。
一つずつ行動に移して子どもと共に成長していこうと思います。
親が研修されるとは思いませんでした。熱いものを感じました。
可許可...まさに自分だと思いました。もっともっと親が成長しなければと思いますし成長したいと心から思いました。
ディスカッションの時間が少なかったです。初対面でなかなか気恥ずかしい気がしました。
自分自身、反省する部分が多々ありました。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1 - 5》

設問1-5

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

本当の優しさと本当の厳しさとはどのようなものなのか。心では分かっているもいざ子育ての面ではそれは生かされていなかった。本当の優しさと厳しさを持って子どもの将来のために努力したいと思いました。

反省することがたくさんありました。今後、子どもと一緒に変わり成長できるよう頑張ります。

家での自分の役割りが分かって良かった。

ガミガミ言うだけが親じゃないんですね。

日頃の子どもに対する接し方等、反省することが多くありました。

子どもとは親の真似をするものなので、小言ばかり言わず親自信が鏡になり毅然とした態度でいることが大事なのだと思いました。

自分では厳しい親のつもりでしたが、そうではないように思いました。

いつも時間に流されていますが、忘れてしまっていることも多いと思いました。

親として反省すべきところが多かったのでこれから少しでも改めて行きたいです。

親として自分を見つめるいい機会でした。もっと自分も成長しないといけないと思います。

2回目ですがやっぱり子どもを甘やかしているところがあります。反省しています。

自分で考え行動する力を身につけることが大切。昨年のおの100の後しばらくは自分で考える事を重視し、子どももそれに応えてくれていましたが、仕事と家事に追われる中でついつい元に戻ってしまっています。親が辛抱する力をつけることも大切だと思いました。

親も一緒に成長をしないといけないなぁと感じています。生きるということの大切さ！！

毎日そばにいと近視眼的になってしまっていました。本日改めて考えてたりすることができました。

子どもは親の鏡。ほんと、子どもに注意していることは自分が出来ていないこと。まずは自分がしっかり頑張りその姿を見せないといけないと反省した。

保護者とのグループディスカッションで他の家庭でも同じようだと思った。

親もしっかり勉強しなければいけませんね。

人前で意見を言うことが苦手で「批判される」といつも頭に通り自分の言葉が言い出せない自分がいるのですが、ディスカッションを通じて親も少し成長、自信が付きました。

子どもとの関わり方...考えさせられました。

体験(感じる事)の大切さの再認識が出来た。

親として反省することばかりでした。可許可、可期待、可干渉などです。

子どもを信じて見守る親に近づけるよう心掛けたいです。

自分も変わらないと子どもも変わらない。時間が過ぎるとだんだんと今の気持ちが薄れてきてしまう。気持ちを持続させることの大切さ。

いろいろな形で子どもを育む心を教わることが出来た。特に可干渉に気をつけたいと感じた。

生きる力を大切にすること。昔からの良さを子どもたちに伝承していくことの大切さをたくさん考えさせられました。

毎回反省することが多く、気をつけようと決心するのですが、いつの間にか元に戻っています。子どもの成長をせかさずじっくり見守っていけるようになりたいと思います。

可干渉になり過ぎず見守ることが出来るようにもっと努力していかないとと思いました。

ディスカッションで他の保護者の方といろいろと話す事ができ、いろんな思いを感じ取れとても良かったです。

「五つの過」についてどこからが過となるのかを考える機会として捉えています。良い言葉を聞きました。

お話出来て良かったです。頑張れ娘。

設問1-5 (セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)	
近所の学校に行っていない。そうなると近所付き合いが無くなる。大変だけど地域とコミュニケーションを取らなくてはいけないと思う(子どもと自分、社会のためにも)。仕事でも同じことが言えるのかもしれない。これからはもっと自分よがりにならないで相手の事を思い誠意を示してやっていきたい。	
今一度、子育てについて振り返ってみたいと思いました。	
今回も反省、反省でした。子どものやる気を奪って小言を言う日常ですが、改めて間を持って見つめ必要な場面で声掛けして成長へつなげていけるようにしたいと思います。勉強会をありがとうございました。	
手を出し過ぎ、口を出し過ぎ、先回りして準備をし過ぎた点を反省しました。	
子どもへのかかわり方を考えさせてもらう一日でした。	
家族全体でもう少し今後の子育てにおいて役立てたいと思いました。	
時間に追われて生活していますが、余裕を持って生活し子どもと関わりたいと思いました。子どもの話をゆっくり聞いてやれる時間をもっと持ちたいと思いました。	
親がしっかりしないとと思われた。	
受ける度に五つの過がズシンと響きますが、1年経つと…。毎年少しずつ成長していける私でありたいと。	
子どもを大事に思う気持ちを履き違えていたように思う。又、厳しさに一貫性がなければ本当の成長もないと反省した。	
自分(親としての)を振り返って反省することが出来たので良かったです。周りの方とも話が出来て、その方が言われることに共感出来て反省をして子どもとの接し方が分かった。	
3回目の参加になりますが、子どもの成長と親の考え方によって今回も新鮮な気持ちで受講させていただきました。	
「やる気の根源は感動である」という言葉が心に残りました。まさにおの100での体験はこれにぴったりだ!と思いました。	
日々忙しい生活の中で忘れていた「待つ」と実践したい。	
資料にまとまりがない。グループワークはとっても有意義でしたが、発表されない方がひとりいらしたので寂しかったです。	
いろいろな意見が聞いて良かった。子どもを参加させることに多少不安があったが期待が大きくなった。	
わが子に親の方から「これすれば?」「やったらいいよ」と言っているうちに自然と子どもの方から「これでいい?」「今、食べていい?」と聞くようになっていくことに気づかされた。もう少しのびのびとやらせてやりたい。	
子を思う親の気持ち、親を思うこの気持ち、お互い思いはいっぱいあるけれど日頃なかなかそれを伝えていない。このセミナーを受けて今日から少しずつでも出来ること(子の力を信じる)などをやってみたい。	